

2020年12月16日発行

事務所 武石地域自治センター内
TEL:0268-85-3667
<https://www.s-takeshi.jp>
印刷 中澤印刷株式会社



武石のこと

もっと知りたい!

▲堀之内の数珠回し
阿弥陀三尊も拝観

第4回「たけしカルタ歴史さんぽみち」

ふるさとカルタに描かれた武石の名所旧跡等を巡るこの催しも4回目となりました。

前日までの雨も上がり好天に恵まれた10月24日(土)、住みよいたけしをつくる会子育て教育・文化部会、スポーツ協会の共催により、今回は上武石を郷土史研究家児玉卓文さんの説明をお聴きしながら50名を超える参加者とともに巡りました。

「武石の中心部である小学校周辺は、戦国時代には豪族大井氏の館や、江戸時代には上田藩の陣屋がありました。堀之内には、明治20年代に器械製糸工場が開かれ、大正・昭和初期には公民館に文庫が

置かれ、文化的水準も高かったのです」と、講師の丁寧な解説を聴きながら、長い歴史の中で地域の盛衰を身近に感じるとともに、遠い昔に思いを馳せることができました。

参加者からは、「今までとは違った眼で、地域を見直すきっかけとなりました。」と、感想をいただきました。この催しは、今後も形を変えながら開催する予定です。

また、10月18日(日)には、巢栗溪谷や竜ヶ沢ダムを巡る「紅葉を巡るウォーキング」も開催され、武石地区外からの参加者を含む35名が参加しました。

武石お散歩ギャラリー秋

10月31日(土)から11月1日(日)にかけて「武石おさんぽギャラリー 秋」(主催：武石風土つなぎ隊)が開催されました。好天に恵まれたメイン会場の「つなぐ家」や「ギャラリークラノマ」周辺は久々に賑わいの戻ったミニ文化祭となりました。

今年は、コロナ禍により様々なイベントがキャンセルされるなか、開催も危ぶまれましたが「感染症対策を徹底したうえで、コンパクトなものであれば開催可能」との判断で開催の運びとなりました。



「つなぐ家」では、ボランティア参加の長野大学学生によるジャズライブや「ちゅらぱに」による沖縄メロディー演奏会とともに、「ソバ活性化組

合」による打ち立ての生そばの販売をはじめ、地元野菜のマルシェも開かれました。一方、「クラノマ」一帯では、懐かしい音楽が流れるなか、手作り加工品やミニ玩具・風船アート・絵手紙・菊・写真・習字作品・山野草・パッチワークなどが披露され、賑わいのなかにもしっとりとした空間と時間が広がっていました。



協力ボランティアとして参加の長野大生の声

“地域に向けて、どうすれば元気を与えることができるか”をメインテーマとして日々活動しています。二日間だけですが、自分なりの答えを持ち帰りたいと思います。



第4回 集まれ! 仮装大賞

1日の午後には、メインイベントとなる「第4回集まれ! 仮装大賞」が開催されました。回を重ねる毎にバージョンアップされるこの催しも、今回は小学校のご厚意により体育館での開催となり、ソーシャルディスタンスの客席配置や音響・スポットライトの効果も加わり、テレビの公開録画さながらの大掛かりのものとなりました。

出場は11組、様々な趣向やアイデアを取り入れた仮装や演技、工夫された大道具などには会場から大きな拍手喝采が沸き起こりました。

優勝は「ミスターそろばんジュニア」、第2位は「赤ずきんちゃん」、第3位は「ウソついたらのびちゃうぞ!!」、また特別賞として「消毒ヒーローマスクマン」がそれぞれ受賞しました。

「武石風土つなぎ隊」

代表の柳沢裕子さん

拠点「つなぐ家」ができたことで新しい出会いと繋がりがたくさん生まれました。これからも地域の方々の夢を叶える場づくりに向けメンバーとともに前進してまいります。ご参加・ご協力をよろしくお願いいたします。

消毒ヒーローマスクマン
「コロナを打ち負かせ!」



花花は手な
「季節の花をピン芸で表現」



ミスターそろばんジュニア
「願ひまては〜大忙し」



柔と侍
「談慶ファミリー堂々と」



ウソついたら伸びちゃうぞ!
「ピノキオの鼻がぐんぐん伸びて」



みんなでダンスパーティー
「かわいい5人組」



炭坑節
「月が出た出た月月」



リンゴちゃん
「流行りのダンスで、はいポーズ」



稲刈りは楽しいね

「近年ハゼ掛け風景も少なくなりました」



赤ずきんちゃん
「昨年の優勝チーム。今年も大健闘!」



男と女

「後ろ姿に大爆笑」



第1位に喜びいっぱい「そろばん」チーム

最後に全員で



スタッフの皆さん、お疲れさまでした!

審査員の皆さん 総監督 滝澤和広さん

問題山積みの中で何とか開催できてホッとしています。奇跡の第4回でした。

武石を盛り上げる
人々グループ紹介

武石の人々 団体

11月1日(日)武石小学校体育館で「第4回 集まれ! 仮装大賞」が開催されました。このイ

ベントを第1回記念大会から総監督として演出、プロデュースをしているのが武石郵便局長の滝澤和広さんです。



今回はドラキュラに仮装した滝澤さん(第70回仮装大賞で受賞した時の衣装だそうです)

滝澤さんは、日本テレビの長寿番組「欽ちゃんの仮装大賞」に郵便局チームで4回出演した経験があり、3回目出演した「欽ちゃん&香取慎吾の第70回新! 仮装大賞」では20点満点を獲得、技術賞を受賞する程の実力派です。

武石の仮装大賞は、武石風土つなぎ隊から滝澤さんに、武石おさんぽギャラリーで地域を盛りあげる新しい企画の相談があり、テレビ番組に出演してチームを束ね、苦労した経験が地域のイベントに生かせるのではと考え、「仮装大賞の地域版」を企画、提案した事から始まりました。

最初は簡素な催し物で考えていましたが、途中から話がどんどん大きくなってしまったとの事です。

そこで、旧知の日本テレビ番組制作者に電話をして企画内容を伝え、「地域貢献のため、仮装大賞をやらせてほしい」とお願いすると、なんとその場で許可が出て、さらに番組で使用しているテーマ曲や効果音の音源を提供してもらえる事になったとの事です。

また、番組の象徴的な装置である得点ボードが、番組の中で知り合った友人の協力により、番組と同じ電飾で格安に製作する事ができました。

武石の仮装大賞の企画が大きく進展できたのは、「テレビ番組の制作者と出演者との深い信頼関係があった事、そして番組仲間との友情と信頼のおかげです」と滝澤さんは話していました。

さらに、テレビ番組と同じ進行で同じ演出となるように、詳細に段取りを記述した台本を作成し、この台本により司会者や全ての運営スタッフが同時に動けるようにしたとの事です。



集まれ! 仮装大賞
総監督

武石郵便局 局長 滝澤 和広さん

こうして入念に準備され、凝った演出で始まった武石の仮装大賞は、「テレビ番組と同じだ!」と評判になり、回を重ねる毎に知名度が上がって武石内外からの出演者も増え、武石おさんぽギャラリーの恒例イベントとなりました。

「出演した人にいい思い出を作って帰って欲しい」という想いで仮装大賞をやっています。凝った演出で音や照明を徹底的に同じにして、「本物のテレビ番組に出たような気分になって欲しい」、これが我々の出演者へのおもてなしです」

「仮装大賞は、手作業で物を作るとか、家族の絆や友情を育むといった、今日失われつつある日本の文化を少しでも経験できる貴重なエンターテイメントです。これからも続けて、第10回記念大会を目標にやりたいですね」と今後の抱負を話していました。

仮装大賞に熱い想いを抱く滝澤さんですが、普段は武石郵便局長として、窓口業務や配達業務の統括、業務運営に忙しい日々を送っています。

「郵便局は地域のインフラであり、「身近で皆さんのそばにある郵便局」を大事にして、地域の皆さんに喜んでもらい、頼ってもらえるように、郵便局員も皆で頑張っていますので、何なりとお申し付けください」とのメッセージを頂きました。



▲地域の生活を支える武石郵便局の皆さん

人・農地プラン地域懇談会

上田市農業委員会武石地区審議会が主催する人・農地プランの実質化に向けた懇談会が武石地域の8会場で開催されました。

農業委員会では、将来の地域農業をどう組み立てていくのか模索しています。今年2月の全農家へのアンケートを地図に「見える化」し、10月23日(金)は上武石地域を対象として懇談会がもたれました。

委員会からは「人・農地プラン」の趣旨や上武石地域の農業経営者の状況、支援制度、農地の貸し手や集積の状況などの説明があり、意見交換が行われました。参加者からは「耕作放棄地につい



て行政も積極的にアプローチしてほしい」、「今は農業をしている人も10年先の見通しが立てられない」、「農地が分散していると非効率で、借り手も規模拡大できない」、「集落全体で農地を守る努力も必要」等様々な意見が出されました。

担い手の高齢化・後継者不足、不耕作地の増、食品の安全問題等様々な課題がある農業、地域としてどう取り組むのかの対応が迫られています。

新そば食べ比べ 武石観光センター

観光センターでは秋恒例のそば祭りがコロナの関係で中止せざるを得なくなりましたが、代わりに11月10日(火)から6日間、そばの食べ比べイベントが行われました。

そばは、「信濃1号」、改良型の「信州ひすいそば」、「会津のかおり」の3種類で、このうちの2食が日替わりで提供され、客は2つを比べながら味わっていました。ひすいそばは下小寺尾の池内文男さんが約2.5ha栽培し、薄い緑色をしています。

小学校2年、3年生の ブロッコリー収穫体験

10月19日(月)、武石小学校2年、3年生によるブロッコリー収穫体験が行われました。2年生の収穫体験は今年で3回目ということですが、昨年台風災害でできなかった3年生も今年参加し、計48名で行われました。

この日下小寺尾にある竹内利通さんの畑には食農教育は大切ということで、JAの関係者8名も応援に駆け付けました。



竹内さんやJA職員からブロッコリーの栽培や栄養などの説明を受けた後、子どもたちは一人2つずつ収穫しました。これはお家にお土産として持って帰ります。

収穫体験の後は、別に茹でて用意したブロッコリーをマヨネーズやドレッシングでその場でいただきました。「家でも食べるけど、取り立ては甘くておいしい」と10回もお替りする子もいましたが、中にはちょっと癖のあるにおいが苦手という子も。それでも「大きいのが取れて嬉しかった」という感想も聞かれました。これをきっかけにみんなが武石の野菜を好きになってくれればいいですね。



センターは、今年はコロナの関係で例年の4割程度の売り上げという大変厳しい年だったということですが、このイベントを最後に来年4月までの長い冬ごもりに入りました。

たけし
歴史さんぽ道武石峠にマシラや豺狼^{さいろう}？

松本の殿様は武石峠で参勤交代!!

郷土史家 児玉卓文



松本側から武石峠をめざす道あと(推定)

内村の三才山峠、和田峠など武石の隣は今日トンネルで山のあちらに容易に抜けられます。今回は武石谷を西へ越える武石峠とその通行について歴史をひも解いてみましょう。

江戸時代の宝暦3(1753)年、佐久市野沢の瀬下^{せのした}敬忠は『千曲之真砂』という本を著し、その中で武石峠について次のように書いています。

— 武石の本村を出ると築地原という枝村があり、これから峠へ登る。峠を下るまで人の気配はなく、休む所もありません、石や岩のごろごろした険しい山の中で、巨木の枝にはましら(サル)が啼き、真上の空の雲のあい間には鷹などが飛びかうばかりで、訪れる人もなく、また木を切る音さえもなく、春と秋に人は通るが、夏と冬はごく少ない、冬は突然激しい風が雪を飛ばし、たちまち1.8mほども積もり、人を凍死させてしまう、夏は激しい雨が峯を崩して、谷間からは水があふれ出て人や馬を流す、また豺狼^{さいろう}(やまいぬ・おおかみ)に襲われることもある、大勢で通るのがよく、小人数でははなはだ危険だ(現代語訳) —

また少し前の享保9(1724)年には、松本藩主の水野氏は、信濃の地理と歴史の書『信府統記』を編さんしました。そこには、松本から江戸に行くルートが四つあげられ、最短ルートとして武石峠越えの「武石通り」が次のように書かれています。

— この路は往還^{おうかん}(公認の道)ではないが、松本から上田・小諸等の城下を除けて、中山道の長久保へ出る山道です、松本から山家・湯の原・藤井を通り、船が沢への別れ道があり、武石峠の郡境までは松本から約12km、峠の北方に茶屋場がある。(第2代藩主の忠職^{ただもと}(1613～68)様は、参勤交代でこの道をたびたび往来したといえます)(現代語訳) —

武石への道は、美ヶ原温泉のある湯ノ原、あるいは桐原から登り袴越山へ出る尾根上を進んだよ

うです。「峠の北方に茶屋」ですから、武石側ですよ。ただ、当時の峠の地点が分かりません。武石峠や武石の村中を参勤交代の行列が通る、想像できますか？整列しないただ長い人の列だと思えますが・・・

江戸幕府は、五街道および脇街道に宿駅を置き、人と馬を用意させ、公用の荷物や人を無賃または安い公定賃金で、宿場から宿場へリレーさせました(宿継)。商品荷物も街道を宿場で継ぎ送ることとされ、宿場はその輸送料や手数料で公用の荷物や人を運ぶ不足を補っていました。宿継は当然、時間がかかるし、価格に輸送費が加算され、かつ商品が傷みます。今日の宅配便のように早く安く届くほうがいいですよ。ですから商品は、抜け道(へり道)で運ぶことが多くなりました。もちろん違反です。

江戸時代初めの元和4(1618)年、松本藩は御城米(江戸の藩邸経営費用とするため、江戸へ送るお米)は保福寺宿へ集め、保福寺峠を越え上田から北国街道・中山道を通して、倉賀野から舟で運ぶことを関係宿場に命じました。もちろん商品荷物もこのルートを通行するのが定めです。

武石峠は本来へり道ですが、社会が発展してくるとさかんに利用されるようになりました。すると、保福寺道の保福寺宿・浦野宿・岡田宿は松本藩に武石峠の通行差し止めを訴え、たびたびトラブルが起こります。

享保18(1733)年、保福寺宿と浦野宿は松本藩役所に、以前に商品荷物が武石通りを運ばれるのを差し止めていただいたが、また運ばれているので差し止めてほしいと願い出ました(『武石村誌』325～326ページ)。以前にとありますから、江戸時代も早いころから荷物の通行があったことが分かります。松本藩は通行を禁止しますが・・・さあ、どうなるのでしょうか？

次号へつづく。